

こうべ再生リン 増産に向けた取り組み ～玉津処理場に 2基目を設置～

Vol. 08

農作物の栽培に欠かせない資源「リン」。その多くを輸入に頼っていますが、神戸市では下水からリンを回収し、こうべ再生リンとして肥料に利用する取り組みを行っています。（「こうべ再生リン」プロジェクト。詳細はVol.1で）

この度、こうべ再生リンを増産するために、玉津処理場に新設した2基目のリン回収設備をご紹介します。

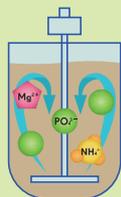
下水を処理する過程で「汚泥（下水の汚れなど）」が発生します。この中にリンが多く含まれるため、化学反応によりリンを結晶化し、回収しています。今後、玉津処理場に新設したリン回収設備を使って、性能評価や回収したリンの成分分析などを行う予定です。

1基目の東灘処理場の回収量と合わせると
全国最大の年間200トンになるんだ！



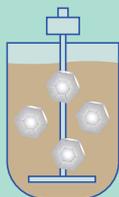
① マグネシウム投入

汚泥にマグネシウムを加えてかき混ぜると・・・



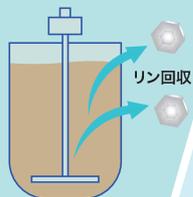
② 晶析反応

晶析反応によってリンの結晶になります。



③ リン回収

汚泥とリンの結晶（再生リン）を分け・・・



④ 洗浄

再生リンを洗浄し・・・



⑤ 乾燥

乾燥すれば完成です。



資源循環「こうべ再生リン」プロジェクト 最新情報

～ロゴができました！～

「再生や循環を表現した元気な芽」と「海と山に囲まれた神戸の風景」を表現しています。今後プロジェクトのPRに活用していきます。



～BE KOBE農産物～

こうべ再生リンを配合した肥料などの地域資源を使い、化学肥料を減らして栽培した神戸産の農産物に「BE KOBE」と表記する取り組みを開始しました。



詳細はこちら

